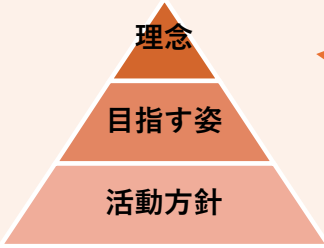


千葉県立美術館 活性化基本構想【令和6年3月策定】



理 念 「アートを問う」 私たちはアートとは何かを、ともに問い続けます
人間とともにアートが生まれました。アートとは何かを問うことは、人間とは何かを問うことと同じ。
だから、人間活動や社会の変容とともにアートも変わります。変化と多様性の時代に、この最終的な答えのない問いを、みなさんと続けていきます

目指す姿 人々が行き交い対話する場となり、千葉から未来へ新たな文化をつむぎます
アートをめぐって人々が行き交う美術館空間に、最新のアートや研究成果を生み出していきます。
千葉ならではの特色を活かしたアートを育み、あらゆる人々とともに新たな世界観を創造し続ける存在となることを目指します

**活動方針Ⅰ
新たな出会いと発見の場に**

大切に受けつがれてきたアートと多様なアートを様々な手法で紹介することで、千葉発のアートシーンを創出し、新しい価値観の気づきの場になります

**活動方針Ⅱ
県内のアートプロジェクトの拠点として**

豊かな自然環境と、首都圏にあり海と空の港を持ち、多様な人々が交差する本県の立地を活かし、県内のアートプロジェクトの拠点として、千葉文化を豊かにするとともに、社会の活力向上に寄与します

**活動方針Ⅲ
次世代の感性を育成する場として**

アートに触れる楽しさを伝えて、子どもたちの感性を育むとともに、県内外の次世代アーティストが千葉に集まり交流・活動ができるよう支援することで、未来のクリエイティブな人材を千葉から育みます

**活動方針Ⅳ
サステナブルな美術館に**

アートの視点から向き合いながら、あらゆる人々の拠りどころになるとともに、日々変化し多様化する社会において、未来につながる持続可能な美術館を目指し、ウェルビーイングに寄与します

実施計画（令和7～10年度）

活性化基本構想の理念・目指す姿を実現するため、令和7～10年度に取り組む事業をまとめたもの

	項目	現 状	令和10年度末 の目標
総合指標 1	認知度 「知っている」人の割合	40.1%	50%
総合指標 2	利用満足度 「満足している」人の割合	43.7%	60%
総合指標 3	年間入館者数 3年間の入館者数の平均	99,164人	120,000人

展 示

重点 1 地域の特色を活かしたアートプロジェクト、他分野とアートの融合、世界の潮流を捉えたアート

- ・千葉ならではの自然・歴史・文化を活かしたアートプロジェクト
- ・近隣施設とのコラボレーションによる地域活性化への貢献
- ・現代アートや気鋭のアーティストの紹介
- ・他分野とのコラボレーション



撮影：みさこみさこ

収集保管・調査研究

重点 2 房総の美術をはじめとするコレクションの紹介と研究の深化

- ・コレクションを魅力的に魅せる常設展示コーナーの検討
- ・外部機関との連携によるコレクション研究の深化
- ・コレクションに関する企画展示・講演会
- ・コレクショングッズの開発・SNS等による発信



交流・教育普及①

重点 3 国内外のアーティストとの交流の場の創出

- ・ドイツとのアーティスト交換・滞在制作
- ・オープンスタジオ、アーティストトーク、ワークショップ
- ・市町村・企業・他のアートプロジェクトとの連携



交流・教育普及②

重点 4 アーティストやボランティアと子どもたちの出会いの場・創作体験の機会を創出

- ・夏休み等に子どもたちへアトリエ開放・創作体験の場を提供
- ・アーティストによるワークショップ
- ・大学生をはじめとするボランティアの指導・交流



交流・教育普及③

重点 5 多様なニーズや経験の違いに応じた体験プログラム

- ・展示の理解を深めるギャラリートーク、ワークショップ、講演会
- ・アーティストによるワークショップ、トークイベント
- ・子ども向けアート体験コーナー新設



交流・教育普及④

重点 6 学校教育との連携による美術教育の拡充

- ・学校向けプログラムの充実
- ・教員向け研修コンテンツの充実
- ・学校と美術館を結ぶバスの導入



環境整備①

重点 7 資料のデジタルアーカイブ化、SNS等を活用した積極的な情報発信

- ・約4500件の資料の計画的なデジタルアーカイブ化
- ・コレクションの魅力を伝えるデジタルコンテンツの公開
- ・ホームページリニューアルによる発信強化
- ・SNS等を活用した発信

環境整備②

重点 8 様々な特性を持つ人々への対応、あらゆる人々にやさしい環境の整備

- ・様々な特性を持つ人に配慮した展示方法の改善（平易な解説文、鑑賞しやすい照明）
- ・ガイドシステム等多言語化の検討
- ・様々な人が体験・交流できる彫刻展等の事業展開

環境整備③

重点 9 館全体の施設整備に向けた検討、収蔵環境の整備と作品保全

- ・館全体の施設整備に向けた検討
- ・コレクションを次世代に受け継ぐための収蔵施設の整備

環境整備④

重点 10 アメニティ設備の整備・充実による魅力的な美術館空間の創出

- ・ゆっくりアートを鑑賞したり交流したりできる憩いの空間の整備
- ・既存建築を活かした魅力的な美術館空間
- ・レストラン・ショップ等アメニティ部分の改善・充実